

あおこうだより

鳥取県立青谷高等学校
令和2年9月7日
VOL. 11

青高生 関西地区の方へ激励メッセージ

6月22日(月)に山陰観光連盟の依頼により、関西地区の主要駅、車両のデジタルサイネー等に「山陰地区の自然景観と地域からの激励(コロナ禍を乗り越えよう!)メッセージ」を掲出する動画の撮影に本校生徒が協力しました。

動画の掲出は、7月27日から2週間でした。

現在、YouTubeで公開されています。「山陰観光連盟」で検索し、「【鳥取・島根】山陰からのメッセージ～繋がりは色あせない～」をクリックするか、下記のURLで検索してください。

フルバージョン：<https://youtu.be/YaLyMIHlvOU>

ショートバージョン：<https://youtu.be/jgFZ7-o6wr4>

<https://youtu.be/PdLfgft3BOA>



青谷駅の観光列車「あめつち」
の歓迎看板を制作していたから
モデルになったんだね♪



あおやくん

青谷学・課題探究

今年も「青谷学・課題探究」で青谷のたくさんの魅力を学習しています。その中で今年新しく始めたものを紹介します。

小学生と一緒に活動

今年は、6月9日と10日に新たな活動として、小学生と一緒に古代米の田植えの体験をしました。この活動は、青谷町にある弥生時代の遺跡「青谷上寺地遺跡」を研究するグループが行いました。

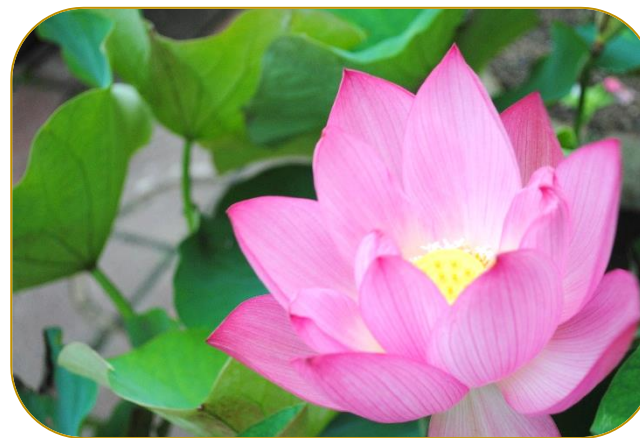
秋には稲刈りをし、収穫した古代米を生徒が作った弥生土器で炊飯する予定です。その他も遺跡発掘体験をします。

このように弥生時代の体験を通じて、青谷上寺地遺跡の理解を深めていきます。



古代の花再現

青谷町には、弥生時代の遺跡「青谷上寺地遺跡」があります。弥生時代をイメージできるものがないかと考え、今年の3月に淀江町の「伯耆古代の丘公園」から古代蓮(大賀蓮)のレンコンをいただき、学校の中庭に植えました。7月の上旬にピンク色の大きな花がたくさん咲きました。生徒は、青谷の町づくりにこの蓮の花や実を活用しようと考えています。



空き家の活用

今年から青谷学のテーマに「町づくり・観光」を加えました。来年度の課題探究で「空き家」をどのように活用するか地域の方と意見を出し合い考えています。生徒からたくさんのアイデアが出てきているので、地域の方と協力して実現したいと思います。



青谷の資源を活用した授業

も青谷の資源を活用した学習をしています。

「青谷学」や「課題探究」だけではなく、他の授業で

3年次「地学基礎探究」

青谷高校から200m離れた「空浜公園」へ行き、地表に現れている岩石を採取しました。採取場所によって比較的安易に採取できるところもあれば、苦労した場所もありました。学校に持ち帰り、採取した岩石にどのような特徴があるのかを調べました。ハンマーで岩石を割って断面を観察したり、拡大鏡を用いて表面を見たりして、自分たちで岩石の種類が何であるかを考えました。



岩石採取



断面観察

3年次「リビングデザイン」

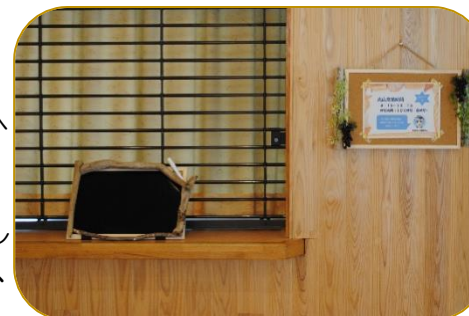
近くの青谷海岸で漂着している流木を拾い集め、売店の看板と連絡ボードを制作しました。売店がおしゃれになりました。



青い空、青い海、白い砂浜 気持ちいい！



慣れない手つきで流木をカット



あおびえちゃん